

教具に関する Q&A (体育倉庫)

Q-17 体育倉庫が狭いので、備品の管理や収納の工夫はありませんか？

体育倉庫を整理するにあたって、気をつけることは…各学校によって、体育倉庫の広さや備品が異なりますが、共通して言えることは、

- ①「何が、どこにあるのか、すぐにわかる」
- ②「使う人が、出し入れしやすい」

そのためには、体育倉庫に備品配置例の写真を掲示したり、運動領域別に分類したり、年間カリキュラムに応じて、使用頻度の高い物を入口付近に配置したりすることが大切です。体育倉庫の広さや棚の有無など各校によって異なりますので、使いやすくなるよう工夫していきましょう。

<体育倉庫 活用例>

○運動を日常化する。

例 ・竹馬や一輪車など、休み時間にもすぐに使えるように昇降口前に配置する。

○ロッカーを有効に活用する。

例 ・ビブスを色ごとの籠に分別して収納する。
・運動領域別に掲示資料を整理する。



壁面や天井を有効に活用する。

例 ・フープ等使用時期に応じて、収納方法を変更する。

年間カリキュラムに合わせた配置転換。

例 ・時期に応じて、タワーボールのゴール等、児童が効率よく準備や後片付けができるよう手前に配置する。

